

MEMO

「三四郎」

夏目漱石

漱石文学の一つの中心であるいわゆる前
後期三部作の始まりをなす非常に重要な
作品である。

うとうとうとして目がさめると

女はいつのまにか、隣じいさん

話を始めている。このじいさんは

たしかに前前駅から来た

いなか者である。癸車 まぎわ...